

石巻小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・「郷土への思いをもち、郷土を愛し、よりよくしていこうと歩み続ける子」の育成をめざし取り組んだ。
- ・なぎの木学習（生活科・総合的な学習）および、特別活動（伝統的な行事：野外劇）を柱に、地域で学ぶ・地域を学ぶ・地域から学ぶ活動（郷土学習）を展開し、「防災」「歴史文化」「人権・平和・命」について、学びを深め、心を育んだ。

・活動の実際

「地域から学ぶ」「郷土学習」（3・4年）

3年生は校区探検から、石巻には柿畑がたくさんあることに気づき、柿農家の方の協力のもと、特産品である次郎柿について学んだ。「石巻の自慢である次郎柿を、これからも大切にしていきたい」と、見学や収穫体験を通して学んだ。4年生は、東頭神社のお雛子体験や、石巻山は珍しいマイマイが生育する貴重な山であることを学習した。地域の方々との交流や学習を通して、石巻の町・郷土への愛着や誇りを高めることができた。



「地域と共に学ぶ防災学習」（全校）

毎年6月に、地域の方の協力のもと、全校で防災について考える授業を行っている。本年度は、低学年も水消火器体験を行ったり、高学年は体育館で避難所の体験を行ったりと、多くの防災体験をすることができた。昼食は非常食体験として、6年生が備蓄カレーを準備し、各学級で防災について考えながら味わった。また、防災に関わる授業参観も行い、親子でふだんからの生活を見直し、みんなで準備をしていくことの大切さに気づくことができた。



「歴史文化」「共生・平和・命・自然」（全校）

野外劇『てんてんてんぐのまいおどり』

郷土に伝わる民話をもとに創作された野外劇三部作から、令和7年度は『てんてんてんぐのまいおどり』を上演した。本年度のテーマは「命・平和」。生命の尊厳と平和を希求する（反戦の思いをもつ）ことを伝える内容である。

野外劇上演は、45年以上続く伝統行事である。地域のお年寄りや本校を卒業し自身も出演経験のある保護者をはじめ、毎年多くの方が楽しみにしてくださっている。

